

北見工業大学入試の区分・情報

入学試験一覧

試験の区分	入試科目等
総合型選抜 (ユニット確定枠、第一次産業振興枠、冬季スポーツ枠)	基礎学力確認試験、個人面接
総合型選抜 (私費外国人留学生試験)	日本留学試験 日本語、数学(コース2)、理科(物理、化学)
学校推薦型選抜	基礎学力確認試験、個人面接
前期日程試験	教科・科目に係る個別テストは課さない
後期日程試験	個別学力検査(数学)



募集人員 ※総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

学科名	入学定員	募集人員						
		一般選抜		総合型選抜				学校推薦型選抜
		前期日程	後期日程	ユニット確定枠	第一次産業振興枠	冬季スポーツ枠 ※1	私費外国人留学生入試	
先進工学科	410人	147人	116人	54人 ※2 各ユニットの定員6人 定員6人のうち「女子特別枠」3人 定員6人のうち「一般枠」3人	3人	4人	若干人	86人

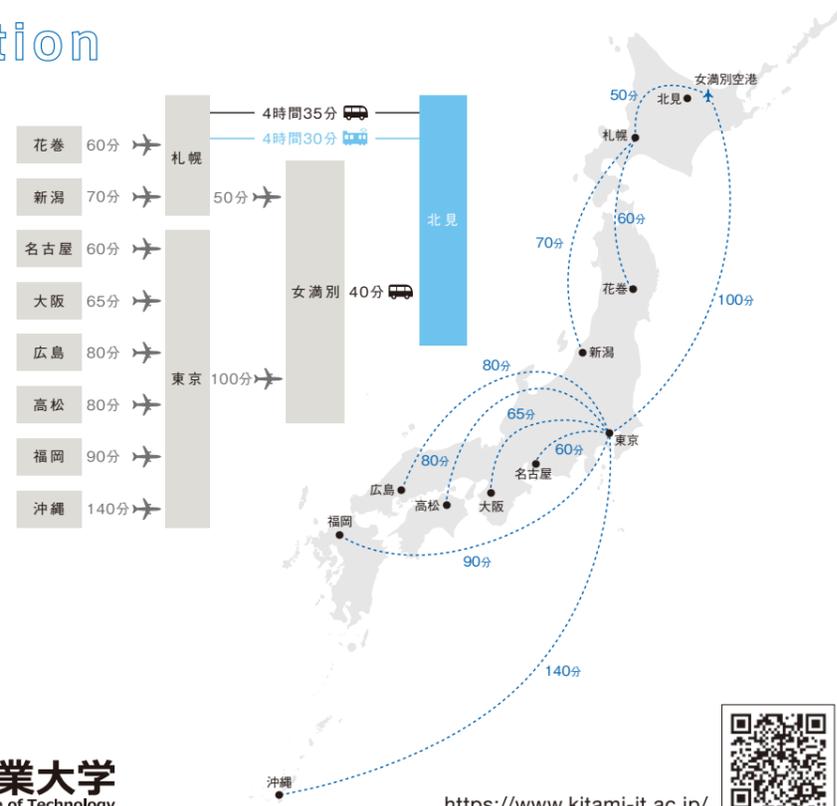
※1 冬季スポーツとは、カーリング及びアルペンスキーを指します。
 ※2 データサイエンスユニット、情報工学・宇宙理学ユニット、機械システムユニット、エネルギー工学ユニット、環境防災・インフラユニット、雪氷理工学ユニット、マテリアル・半導体ユニット、生命化学・食品科学ユニット、及びマネジメント工学ユニットの9ユニットについて、各ユニット6人とし、うち3人は女性を対象とする「女子特別枠」、うち3人は性別によらず出願できる「一般枠」とします。なお、女子特別枠の志願者は、希望により一般枠との併願を可能とします。

Access Information

北見までのアクセス

最寄りに「女満別空港」があり、北見へのアクセスは、飛行機の利用が便利です。

問合せ先
 北見工業大学 教務課入学試験係
 〒090-8507 北見市公園町165番地
Tel.0157-26-9167



<https://www.kitami-it.ac.jp/>

総合型選抜

学校推薦型選抜

GUIDE

あなたの「やりたい」がここにある。

総合型選抜 ユニット確定枠 ▶

総合型選抜 第一次産業振興枠 ▶

総合型選抜 冬季スポーツ枠 ▶

学校推薦型選抜 ▶



自然と調和するテクノロジーの発展を目指して



工学の技術を活かして 社会に貢献しようとする人材を育成

入学から卒業まで ~分野配属から研究室配属~

1年次

「先進工学科」に所属

自然科学と数理データサイエンスの基礎科目及び専門分野移行のための導入科目を設けるとともに、外国語や技術者倫理、人間力養成科目などを工学技術者のリベラルアーツ科目群として設け、全ての専門分野に共通する基礎科目として位置付けます。

2年次末

ユニット配属

2年次末に、所属分野から進むことができるユニットのうち、学びたい研究を行っているものを選択します。9ユニットのうち、データサイエンスユニットとマネジメント工学ユニットはどの分野からでも進むことができます。

3年次末

研究室選択

卒論や就職・進学までを見据えた研究室選択

ユニット配属以降からの専門的学習を踏まえて、研究室紹介や担当教員との面談等で自分が本当に進みたい研究室を選択します。

入学

1年次

先進工学科

2年次

- 情報エレクトロニクス分野
- 機械・エネルギー分野
- 社会基盤・環境分野
- 応用化学・生物分野

3年次

- データサイエンスユニット
- 情報工学・宇宙理学ユニット
- 機械システムユニット
- エネルギー工学ユニット
- 環境防災・インフラユニット
- 雪氷理工学ユニット
- マテリアル・半導体ユニット
- 生命化学・食品科学ユニット
- マネジメント工学ユニット

4年次

卒業

4年次末

卒業後の進路

大学院に進んでさらに力をつけるのがお勧めです。もちろん地元企業との連携を活かした就職、身につけた知識・技術を武器に有名企業で活躍するのもあなた次第です。

- ユニット確定枠は出願時に分野・ユニットを選択します。
- 第一次産業振興枠、冬季スポーツ枠は1年次冬に分野・ユニットを選択します。
- 学校推薦型選抜は出願時に分野を選択することも可能です。

- 総合型選抜で入学した学生は、配属する分野・ユニットが確定しています。
- 学校推薦型選抜分科選択先取り制で分野が確定した学生は、その分野に配属されます。

1年次末

分野配属

1年次末に4分野の中から選択します。1年間学んだ後に分野を決定するため、自身が本当に学びたい・研究したいことをじっくりと見定めることができます。なお、4分野と2年次末に選択する9ユニットはそれぞれが紐付いているため所属したいユニットも合わせて考えるのがベストです。



情報エレクトロニクス分野

高度情報通信社会を支える「コンピュータ」、「ソフトウェア及びハードウェア」、「デジタル情報通信」、「データサイエンス」等の情報エレクトロニクス分野に関する基礎学力や幅広い応用知識、問題解決能力を身につけることができます。



機械・エネルギー分野

「設計生産システム」、「知能・生体システム」、「熱・流体エネルギー」各分野の深化・融合による機械システムの高高度化、カーボンニュートラルの実現に向けた「再生可能エネルギーと電力システム」、「水素エネルギーと蓄電材料」、「省エネルギーと半導体」等による異分野の知識を統合し、複雑なエネルギー問題に対処するための機械・エネルギー分野に関連する基礎学力と幅広い応用知識の修得及び問題解決能力を身につけることができます。



社会基盤・環境分野

人々の安全・安心・快適な生活を支える「社会基盤の整備」、「防災・減災」、持続可能な社会を実現する「自然環境の保全」、「気候変動への対策」等を想定し、社会基盤と環境に関する基礎知識や幅広い応用知識、問題解決能力を身につけることができます。



応用化学・生物分野

「半導体・ナノテクノロジー」、「医療」を始めとする様々な分野での新素材開発を念頭に、化学・物理をベースとした物質化学・材料工学を学び、基礎力・応用力を修得します。また「地域に適合した一次産業支援技術、バイオ工学技術の応用、食品工学・食品科学」に必要な生命化学・食品科学に関する基礎知識・応用知識、問題解決能力を身につけることができます。

KITAMI Institute of Technology

総合型選抜とは

教科・科目に係る個別テストにより、高等学校等での基礎的な数学や理科の知識の達成度を評価します。調査書等の出願書類と面接から得られる志望動機、修学上の目標、将来設計、意欲、協調性、適性等により、工学に必要な幅広い確かな基礎学力や様々な課題を主体的に解決するために必要な思考力・判断力・コミュニケーション力、得意分野に対する関心・意欲・能力等を多面的・総合的に評価します。

ユニット確定枠



現代社会では幅広い知識とより深い専門知識や技術を持った人材が必要不可欠です。学びたい工学分野が決定している方を対象とし、入学時から分野・ユニットを確定することで工学者・技術者として活躍する人材を育てます。

第一次産業振興枠



農業・林業・水産業など第一次産業に関わる様々な課題を、工学の技術とそれらを管理するマネジメント（経営・管理）の視点で解決し、分野の活性化や地域の発展を担う人材を育てます。

冬季スポーツ枠



冬季スポーツは、積雪寒冷地での健康維持・増進、地域活性化など新たな産業創出にも期待が寄せられています。工学の技術により、自身の競技能力を高め、選手育成、研究・開発などで活躍する人材を育てます。

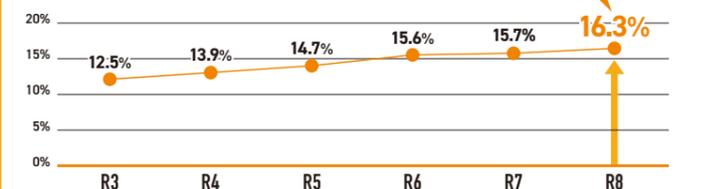
※冬季スポーツとは、カーリング及びアルペンスキーを指します



総合型選抜ユニット確定枠に 女子特別枠

北見工業大学では、総合型選抜ユニット確定枠において、女性を対象とする**女子特別枠**及び性別によらず出願できる「一般枠」を9ユニット全てに設定しています。各ユニットの定員は6人で、うち3人は女性を対象とする**女子特別枠**、うち3人は性別によらず出願できる「一般枠」とします。なお、女子特別枠の志願者は、希望により一般枠との併願を可能とします。

北見工業大学の女子志願者割合 女子志願者が増えています！



こんな人におすすめ

- ものづくりの基礎となる理科が好きな人
- 学びたい工学分野が定まっている人
- 人の役に立つことが好きな人
- 積極性や柔軟な思考力を持っている人
- 新たな物事へ積極果敢に挑戦する人
- リーダーシップを発揮することが得意な人

日本のものづくり技術や産業技術は、かつては世界をリードしていましたが、現在は停滞している状況です。しかし、日本の技術力はこれからも国際社会において重要な役割を果たしていく必要があります。そのためには従来の枠にとらわれない、多様な柔軟な発想が必要です。このような背景から、近年女性の活躍を推進する企業が増えており、社会的に理工系女子学生育成の要請が高まっています。一方で、日本で理工系の学部に入学者女子学生の割合は、OECD（経済協力開発機構）諸国の中で最低水準です。要因の一つとして、理工系分野の能力や適性がある女性が、それを活かした進路を選択できていないことが挙げられます。北見工業大学は、社会の期待に応えるべく、より多くの女性技術者・研究者を育て、社会に輩出したいと考えています。



ユニット紹介動画へ

工学の専門性を深め、工学の技術を通じて社会に貢献したい人を募集します。現代社会では、幅広い知識を持つ人材が求められる一方で、高度な専門知識を備えた人材も必要不可欠です。さらに、工学の専門知識を修得するだけでなく、それらを活かして社会に実装できる力が強く期待されています。

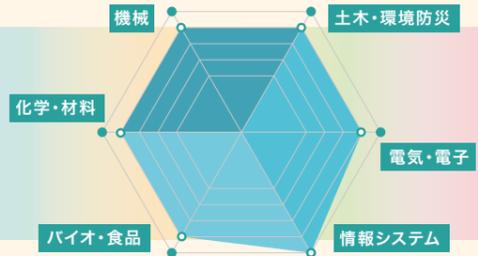
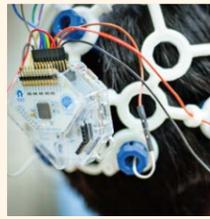
先進工学科では、工学及びデータサイエンスにおける基盤的知識・技術とともに、自発的・継続的に学修する能力を身につけ、多様な人と協働するためのコミュニケーション力とともに、工学技術者としての倫理観と責任感、課題の発掘から解決に至るプロセスを主体的に見出し、複眼的・俯瞰的に考える力を身につけます。

工学・技術の専門性を深めるために合わせて9つのユニットがあります。「これを深めて学びたい!」という工学の専門分野が定まっているあなたを、社会課題の解決や持続可能な未来の実現を通じて、社会に貢献できる工学者・技術者として育てます。

専門工学分野との関連性

データサイエンスユニット

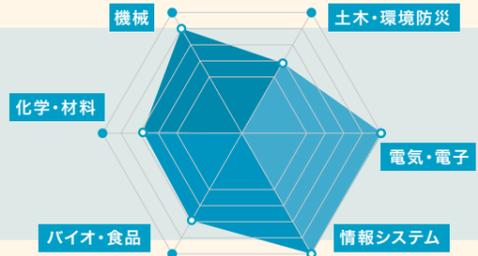
データの収集や解析・活用を通じて、情報通信システムのみならず、電気・電子、機械、土木・環境防災、バイオ・食品、化学・材料といった基盤分野の課題解決に貢献でき、データ駆動型問題解決手法と関連する基礎スキルを総合的に学びます。



分野問わず

情報工学・宇宙理学ユニット

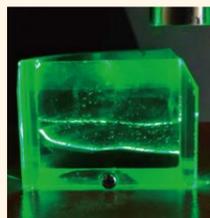
情報と宇宙を2大テーマとして、ビッグデータやAI、VR、ホログラフィー、画像工学、音声処理、水中通信、電磁波シミュレーション、宇宙物理学、銀河天文学など、分野の枠を越えた実践的かつ先進的な工学・理学分野を学びます。



情報エレクトロニクス分野

機械システムユニット

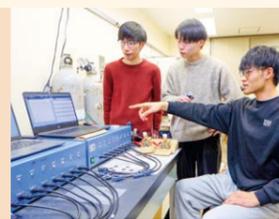
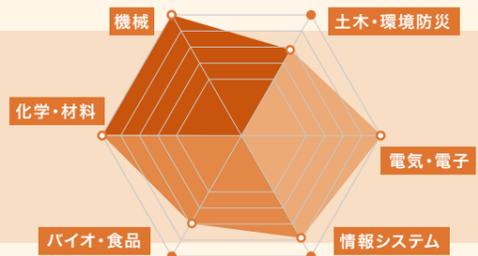
機械工学の基礎をなす力学、設計・制御および生産に関する専門知識に加え、計測技術やデータ解析、数値シミュレーションなどの先端技術を理論と実践の両輪から体系的に学修することで、複雑かつ高度な機械システムを創造・活用できる技術者を養成します。



機械・エネルギー分野

エネルギー工学ユニット

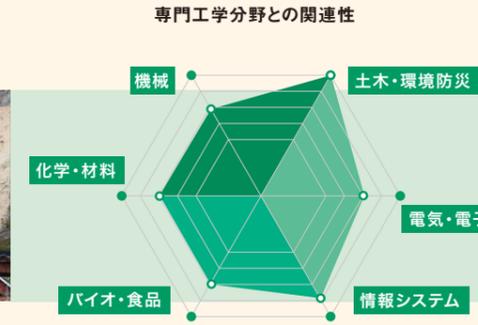
カーボンニュートラルの実現に向けた「再生可能エネルギーと電力システム」、「水素エネルギーと蓄電材料」、「省エネルギーと半導体」等の知識を統合して、エネルギー問題に対処するためのエネルギー工学の基礎と幅広い応用知識を学びます。



機械・エネルギー分野

環境防災・インフラユニット

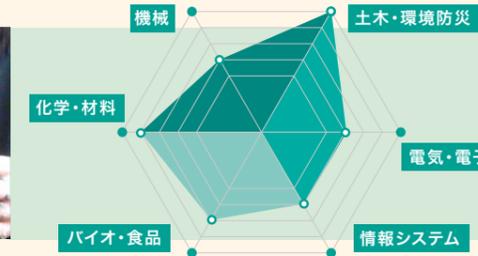
人々の安全・安心で快適な生活や持続可能な社会を支えるインフラ整備・防災・環境保全に関する基礎・応用知識を身に付け、社会の未来を創造するインフラの設計・構築・維持・管理に携わる技術者を養成します。



社会基盤・環境分野

雪氷理工学ユニット

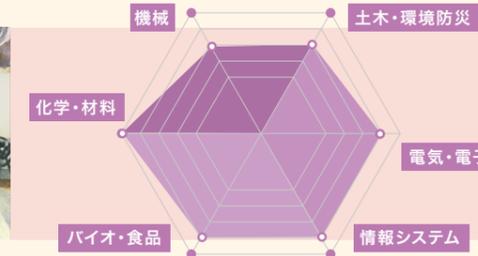
寒冷雪氷圏における普遍的な物質である雪氷やガスハイドレートを対象として、物理・化学系分野を主体とした理学的基礎から土木・環境防災系に密接に関わる工学の応用までを総合的に学びます。



社会基盤・環境分野

マテリアル・半導体ユニット

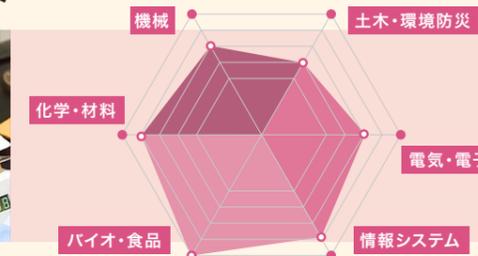
省エネルギー、医療、デジタル社会などを支える新材料の創製を目指し、物理や化学、生物の基礎から、薄膜作製やナノテクノロジーの応用まで幅広く学び、先端材料や半導体分野で社会課題を解決する人材を養成します。



応用化学・生物分野

生命化学・食品科学ユニット

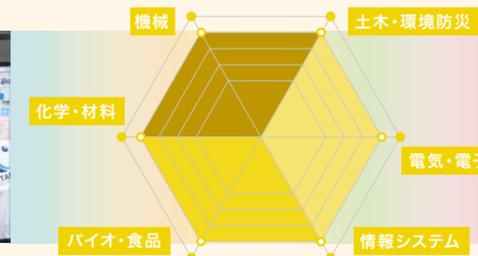
オホーツク地域に特徴的な素材の利用法や、地域産業における課題を、化学を基盤とするバイオテクノロジーおよび食品工学を駆使して解決し、人間性と社会性を備えた技術者として活躍出来る能力を養成します。



応用化学・生物分野

マネジメント工学ユニット

工学者・技術者として活躍するためには、工学的な知識だけでなく、企画力・提案力・組織力・経営力などのマネジメントの能力が必要とされます。マネジメント工学ユニットでは、工学の専門学力とマネジメント力の2つの力を身に付けます。



分野問わず

北見工業大学での学び

出願

出願時に、4分野9ユニットの中から深く工学の専門能力を身に付けたい分野と、その分野から進学可能なユニットを選択します。データサイエンスユニットとマネジメント工学ユニットは、どの分野からも進めます。

合格・入学前

入学前教育として、合格決定後の12月～3月に「英語」「数学」「物理」「化学」について、高校での学習内容の確認・復習を行い基礎学力を強化します。

1年次

出願時に希望したユニットで活動する教員が個別担任となります。

2年次

個別担任との面談を通じ希望する研究内容を絞り込んでいきます。

3年次・4年次

3年次末には所属研究室が確定し、卒業研究となる研究活動がスタートします。4年次も卒業研究に継続的に取り組んでいきます。

卒業後

大学院進学

学部教育で培われた力を基盤に、更に高度な専門能力を修得し、社会で活躍する工学系人材を目指します。

就職

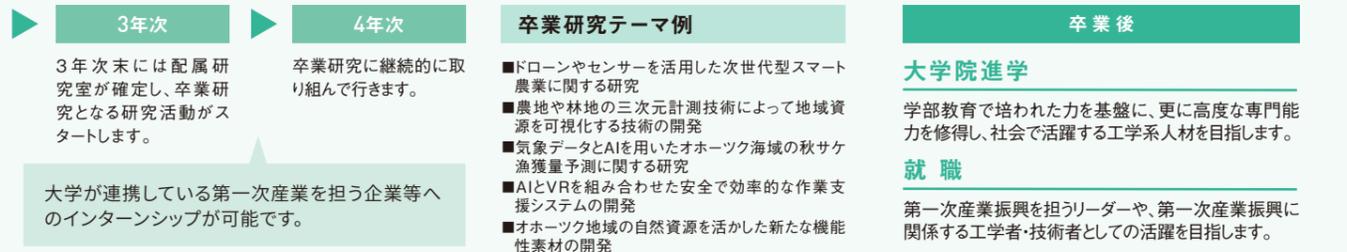
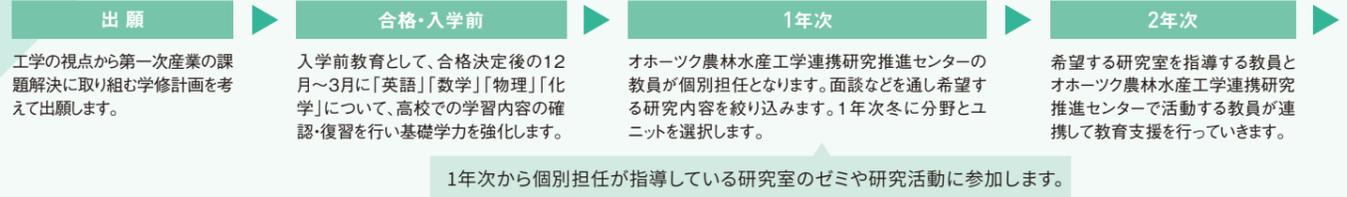
身に付けた工学の専門能力を活かし、研究・開発の現場での活躍を目指します。

総合型選抜 第一次産業振興枠



農業・林業・水産業の振興を通じて社会貢献を目指す人を募集します。
日本の第一次産業に関わる様々な課題を解決し、第一次産業の活性化や地域の発展を担う人材を育てます。

北見工業大学での学び オホーツク農林水産工学連携研究推進センターの教員が教育・研究・学生生活を全面的に支援します。

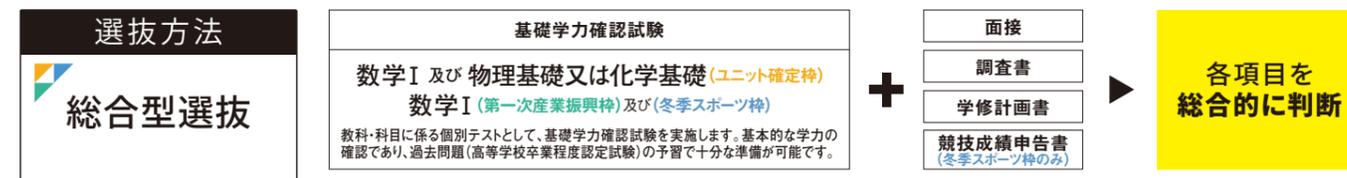
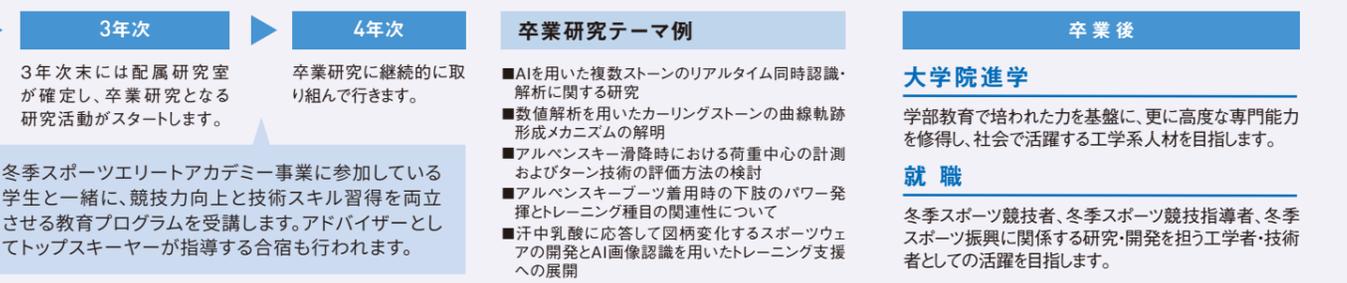
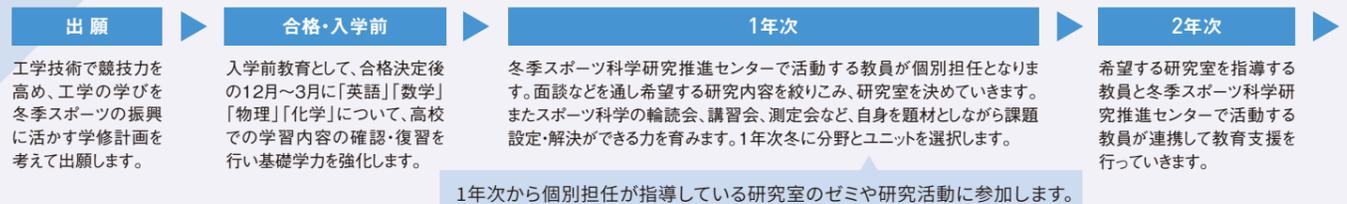


総合型選抜 冬季スポーツ枠



冬季スポーツの振興を通じて社会貢献を目指す人を募集します。
冬季スポーツ選手の育成、冬季スポーツに関連する研究・開発などで活躍する人材を育てます。

北見工業大学での学び 冬季スポーツ科学研究推進センターの教員が教育・研究・学生生活を全面的に支援します。



KITAMI Institute of Technology

学校推薦型選抜とは

教科・科目に係る個別テストにより、高等学校等での基礎的な数学の知識の達成度を評価します。また、調査書等の出願書類と面接から得られる志望動機、修学上の目標、将来設計、意欲、協調性、適性等により、工学に必要な幅広い確かな基礎学力や様々な課題を主体的に解決するために必要な思考力・判断力・コミュニケーション力、新しい分野や未知の分野に対する関心・意欲等を多面的・総合的に評価します。

試験会場

北見 東京

学校推薦型選抜の対象となる者

高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者で、次の3つの条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者

1. 高等学校又は中等教育学校における学習成績・人物ともに優れ、特に数学、理科の成績が優秀な者
2. 志望する工学分野に強い勉強意識と関心を持ち、大学での学習において優れた成果が期待できる者
3. 合格した場合は、必ず入学する意志を持つ者

ポイント

- ▶ 指定校推薦ではなく、公募型推薦のため所属する高校等の学校長からの推薦があれば、誰でも出願することができます。
- ▶ 評定平均値による足切りはしません。また、大学入学共通テストは課しません。
- ▶ 北見に加えて、東京にも試験会場を設置します。
- ▶ 総合型選抜と学校推薦型選抜は試験の日程が異なりますので両方を受験することができます。

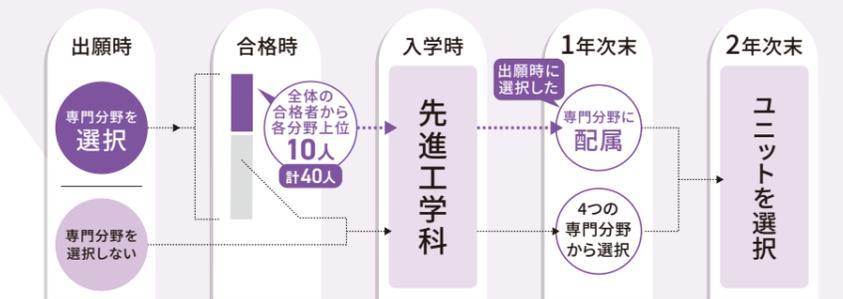
教育支援体制

入学前教育

大学での学習を不安なくスタートするため、合格決定後の12月～3月に、本学のe-ラーニングシステム等を利用した自習により、英語、数学、物理、化学の4科目について、高校での学習内容の確認・復習を行います。

分野先取り制

成績上位者は出願時に専門分野を確定して入学できる制度があります！



※出願時の分野選択の有無によって合否に影響することはありません。
※専門分野が確定して入学した場合は、入学後に専門分野を変更することはできません。

